

# ITビジネスモデル委員会報告 2016年度 その1

## シスコシステムズ合同会社 「シスコシステムズSDNへの取組み」

講師 執行役員 システムズエンジニアリング担当  
(兼)SDN応用技術室長 財津 健次 様

2016. 5. 13(金) シスコシステムズ合同会社(ミッドタウンタワー21F)にて

# プレゼン内容のポイントと質疑

## 1. 今回は

下記項目について、お話を頂いた

- (1) CISCOのSDN
- (2) SDNコントローラーの位置づけ
- (3) オープンソースとの位置づけー購入するか、開発するかー
- (4) デジタルネットワークアーキテクチャ
- (5) APIC-EM製品概要
- (6) データセンターでのSDN: CISCO-ACI

## 2. 質疑

- ・SDNを実現する上で、構成要素は他メーカーのものでも可能か  
⇒今のところ、シスコの機器のみに限定される。将来的には、インターフェイスを標準化して、どの機器でも接続出来るようになるだろう
- ・従来の複雑なコンフィグ設定等は無くなるのか  
⇒全ての設定がマネージャーの機器から出来るのではなく、必要最小限の設定で動作可能とする様なものとなる
- ・動作シミュレーションを行う環境に制約はないか  
⇒現時点では多くのメモリーを必要とするので、動作環境を準備するのが難しい。  
今後の改善点だと思っている

## 感想

- 本日のCISCO様の推進するSDNの位置づけと、どうビジネスモデルで絡まるかを視点に参加しました。ユーザーのIT環境は、様々なネットワークが、従来のシステムに付加する形で増大し、コスト増や人材不足から新たな設備投資に直面している。それに対応して、今回のようなソフトウェアでコントロールする、人材不足を補いながらユーザー側での社会インフラへの対応に向けた方向へのアプローチが考えられる。面白いビジネスであり、ユーザーが抱える保守員に対してストック的なビジネス関係を創造する分野となり得るところが有意義であった。また、最新のフロー環境を見学出来た事も有意義であった。
- 専門外でしたが、SDNの知識を見につけることができ、大変有難う御座いました。サイボウズでもデータセンター自社運用をしており、また社内ネットワークでもシスコ製品を利用しております。ネットワークの運用設定の見える化技術の進歩はコスト削減や設置工数減が見込まれ、今後の運用の広がりが業務効率の改善に繋がると期待しています。

## 感想(続き)

### □セミナーについて

普段の仕事とはまったく違う分野の話のため、あまり参考にはならなかった。というのが正直なところですが。ただシスコさんの進めようとしている方向性は良くわかりました。

### オフィスツアーについて

スペースに余裕のある設計で、フリーアドレスの導入、ミーティングスペースの豊富さなど、非常にうらやましい。とはいえ、フロア間をまたぐ立て移動は少し面倒かな。と感じました。

### □シスコシステムズ社のSDNへの取り組みについてお話を伺いました。

SDNという言葉の表す範囲が年々変化しており、いまいち理解できていませんでしたが、今回のご説明で少しだけ理解することができました。

ただ、SDNによってネットワーク全体の管理・設定が一括で簡単に行えるようになり、ネットワークエンジニアの負担が軽減できる事はわかりましたが、かなり大きなネットワーク基盤を利用している顧客でないとコストメリットが出てこないのではないかと思います。

弊社が関わる顧客層ではそこまできちんとネットワーク管理されているケースはほとんど無いので、お話を伺ってもあまり実感が湧かなかったというのが正直な所です。逆に、ネットワーク基盤が大きくなればなるほどネットワーク設計や運用管理が必要となるので、SDNを導入していない企業ではネットワークエンジニアの作業負担が多いため、SDNの必要性について理解できました。

## 感想(続き)

□今回は、SS委員会(技術より)との行動開催とのこともあったかと思いますが、1時間の中でプレゼンを頂くには、非常に難しかったのかと思います。

結果、広く浅くというようなプレゼンを頂くこととなり、SS委員会の皆様には、物足りなさが残ったのではないかと思います。

SDNが普及していくことにより、物理的なネットワーク機器の追加変更、その環境構築等、複雑な対応がネットワーク技術者で行われていたことが簡易に実現できるのであらうと感じました。

一方、それなりの規模のネットワークを有す企業でないとは有効ではないのではという印象も受けました。

オフィスツアーについても参考となり、CISCO社の皆様にはありがとうございました。

## 編集後記

今回はシスコ様のSDN戦略を中心にお話を戴いた。ご参加の皆様からの感想にもあったが、SDn構想は現時点ではエンタープライズ系のシステムに対して有効なものであるという感触を持った。ネットワークの構築は構成する機器の設定等、かなり複雑であり、ネットワーク技術者が現時点では不可欠である。比較的小さなネットワークでも、このSDn構想で、少しでも効率的に設定出来るようになれば、設定の間違いも減り、時間も短縮出来る事になる。そのような時代がすぐにやってくる事を期待したい。

下記URLから今回のプレゼン内容がダウンロード出来ます(会員限定)

[https://www.jcssa.or.jp/memberJCSSA/img/dl10\\_01.pdf](https://www.jcssa.or.jp/memberJCSSA/img/dl10_01.pdf)